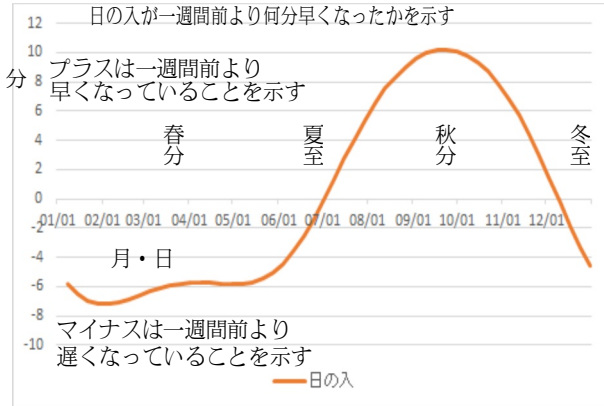




秋の日はつるべ落とし・・・とは

日の入りの時刻の変化



「秋の日はつるべ落とし」と云われる。まで左のグラフに表した。

秋になると日の入りの時刻が早くなる。その早くなり方が秋分の頃は速いのではないか。そこで日の入りの時刻を調べた。車で云えば日の入時刻は走行距離。ここで車で云えば速度にあたる「日の入りの変化の速度、日の入りが一週間前より何分早くなったか」を調べた。日の入りの変化の速度を年初から年末

と、変化率は小さい。冬至を過ぎると、日の入りが遅くなり始める。春分の前、一週間前より七分遅くなる。秋分の頃、一週間十分早くなるのと比べると、変化率は小さい。

結局、日の入り時間の変化は秋分の頃が最大。それで「秋の日はつるべ落とし」と云われるのではないか。

お彼岸なのでこんな話題にしてみました？

薪小屋

長野県諏訪郡原村ペンション木のくつ
二〇一七年九月



八ヶ岳の西の山麓に「原村」がある。別荘地やペンションが沢山ある。ペンション「木のくつ」も、その一つ。

ペンションオーナーは、別荘地やペンションで大きくなりすぎた木の伐採を頼まれるという。伐採した木は適当な長さに伐って持ち帰る。割って乾かし、冬の薪にしているそうだ。この季節に薪の在庫をどんどん積み上げているのだ。

これらの薪は冬、ストーブにくべる。横浜にいとエアコンが何の炎も出さないので、部屋を暖めてくれる。薪ストーブで薪があげられる赤い炎は、心まで暖かくしてくれる感じがする。

ペンションオーナーによると、これだけ沢山の山用意した薪も一冬ですべて燃やしてしまうそうだ。

